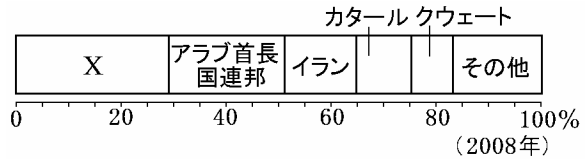


【】資源と工業

【】石油の輸入先

[問題]

右図は、わが国の原油輸入先の割合(2008年)を示している。次の問いに答えなさい。



- (1) X の国名を書きなさい。
- (2) 資料の 5 か国が共通に面している湾の名前を書きなさい。

(2007年富山県)(2006年栃木県)

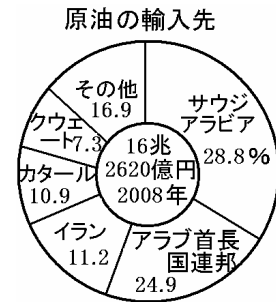
[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) サウジアラビア (2) ペルシア湾

[解説]

世界の石油埋蔵量の2/3は、ペルシア湾沿岸を中心とする西アジアに集中している。また、石油の生産量・輸出量ともにペルシア湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。

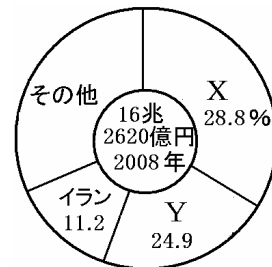


日本の石油輸入の約8割はペルシア湾沿岸の国々からである。その中でも多いのが、サウジアラビアとアラブ首長国連邦とイランである。
統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P313・318

[問題]

右のグラフは、わが国の主な石油輸入相手国とその割合を示そうとしたものである。グラフ中の X, Y にあてはまる国の正しい組み合わせは、次のア～エのうちのどれか。1つ選んで、その記号を書け。

- ア : インドネシア Y : マレーシア
- イ : オーストラリア Y : ブラジル
- ウ : カナダ Y : アメリカ合衆国
- エ : サウジアラビア Y : アラブ首長国連邦



(2006年香川県)

[解答欄]

[解答]エ

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P313・318

[問題]

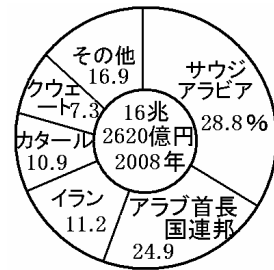
次のグラフは、日本が輸入しているある資源の輸入先を示したものであるが、その資源は何か答えなさい。

(2007 年島根県)

[解答欄]

[解答]原油

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P313・318



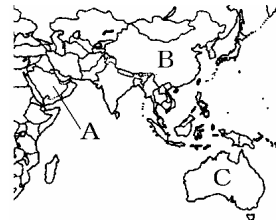
[問題]

原油の日本への輸出が最も多い国を A～C から選びなさい。

(2006 年長崎県)

[解答欄]

[解答]A



[問題]

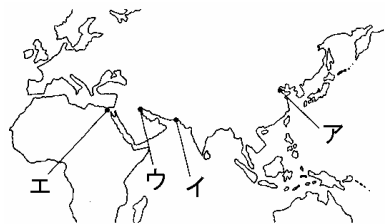
次の文は、わが国が輸入している主要なエネルギー資源と、その積出港がある地域について述べたものです。この文が述べている地域にある積出港として最も適当なものを、次の略地図中のア～エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。

わが国のこの資源の自給率は、きわめて低く、ほとんどを輸入に依存している。また、輸入量のおよそ75%をこの地域の国々から輸入している。この地域の海にそそぐ河川の流域には、かつてメソポタミア文明が栄えていた。

(2006 年岩手県)

[解答欄]

[解答]ウ



[問題]

原油価格の値上がりに関連して、その原因や影響の説明として適当でないものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 石油輸出国の政情が不安定になれば、原油価格は上昇しやすくなる。
- イ 新興工業国による原油の需要増加は、原油価格上昇の一因と考えられる。
- ウ 今日の地域紛争の多くは、原油価格の値上がりを背景に発生している。
- エ 原油価格の値上がりは、ガソリンや灯油の価格高騰につながりやすい。

(2008年島根県)

[解答欄]

[解答]ウ

【】各資源の輸入先

[問題]

右図はある鉱産資源の主な輸入先を示している。この鉱産資源は、火力発電や鉄鋼の生産などに使用されており、そのほとんどを輸入している。この鉱産資源は何か。

(2005年山形県)

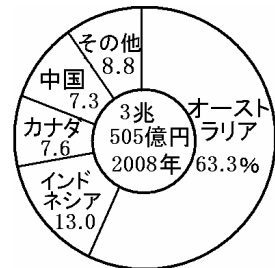
[解答欄]

[解答]石炭

[解説]

日本は石炭のほぼ 100%を輸入に頼っているが、輸入の約 6 割はオーストラリアからである。鉄鉱石の輸入も約 5 割はオーストラリアからである。オーストラリアの東部では石炭が、西部では鉄鉱石が産出されている。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P317・318

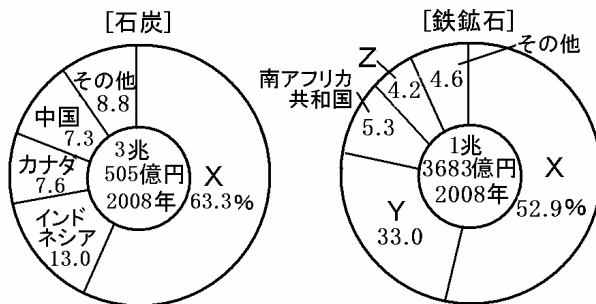


[問題]

下のグラフ中の X~Z の国名を次から選んで答えなさい。

[ブラジル オーストラリア インド]

日本のエネルギー・鉱産資源の輸入先



[補充問題]

[解答欄]

X	Y	Z
---	---	---

[解答]X オーストラリア Y ブラジル Z インド

[解説]

鉄鉱石・石炭ともに日本の輸入先の第 1 位はオーストラリアである。したがって、X がオーストラリアであることはすぐにわかる。鉄鉱石の輸入相手先の第 2 位は、鉄鉱石産出量が世界 1 であるブラジルであるので、Y はブラジルと判断できる。Z は残りのインドである。

[問題]

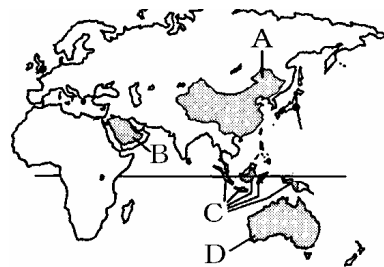
日本が石炭を最も多く輸入している国を、地図の A~D から 1 つ選び、その符号と国名を書きなさい。

(2006 年石川県)

[解答欄]

--	--

[解答] D / オーストラリア



[問題]

次の表は、石炭、石油、天然ガスのいずれかの品目について、日本が輸入している国別割合(2008 年)の上位 4~5 か国をそれぞれ表したものです。X、Y、Z にあてはまる品目を書きなさい。

X		Y		Z	
サウジアラビア	28.8%	オーストラリア	63.3%	マレーシア	19.2%
アラブ首長国連邦	24.9	インドネシア	13.0	インドネシア	18.9
イラン	11.2	カナダ	7.6	オーストラリア	15.8
カタール	10.9	中国	7.3	カタール	12.6
クウェート	7.3	その他	8.8	ブルネイ	9.2
その他	16.9			その他	24.3
計	100.0		100.0		100.0

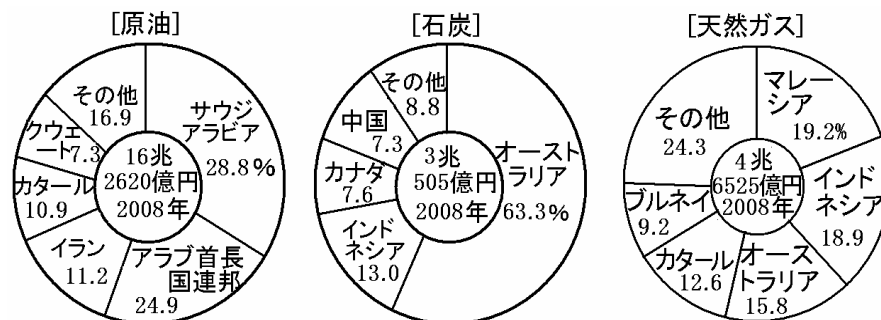
(2007 年和歌山県)(2006 年長崎県)

[解答欄]

X	Y	Z
---	---	---

[解答]X 石油 Y 石炭 Z 天然ガス

[解説]



統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P317・318

[問題]

右の資料に示した日本の輸入資源は何か。次から1つ選びなさい。

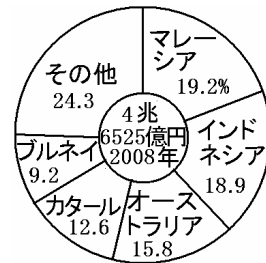
[天然ガス 石油 鉄鉱石 ウラン]

(2007年宮崎県)

[解答欄]

[解答]天然ガス

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P317・318

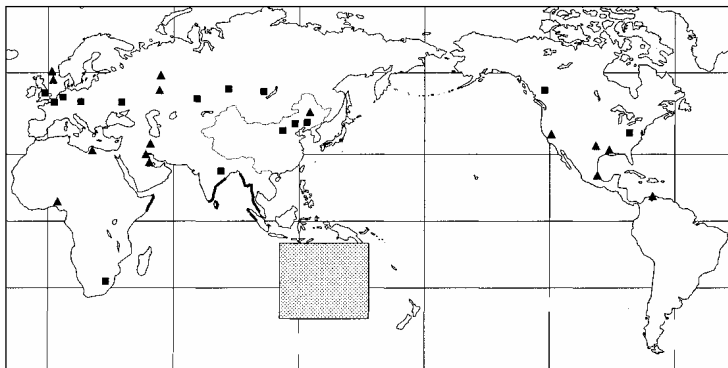


[問題]

鉱産資源 , について, 略地図の分布とグラフ(日本の主な輸入先)を見て, その組み合わせとして最も適当なものをア~エの中から選べ。

ア： 石炭 石油 イ： 石油 鉄鉱石

ウ： 鉄鉱石 石炭 エ： 石油 石炭

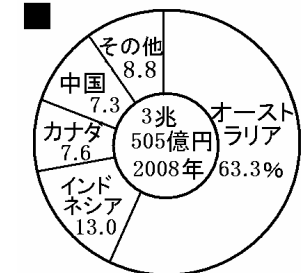
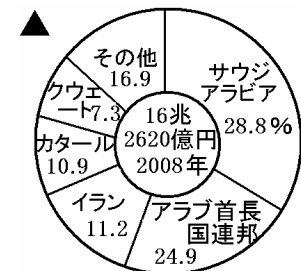


(2006年鹿児島県)

[解答欄]

[解答]エ

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P317・318

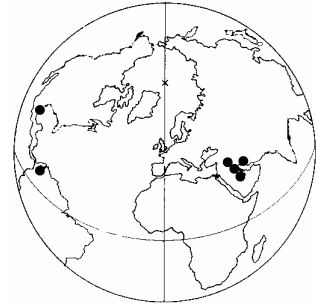


【】各資源の産出国

[問題]

略地図中の は、ある鉱産資源の埋蔵量が多い場所を表している。この鉱産資源は、西アジアに世界の埋蔵量の約3分の2が分布するといわれている。この鉱産資源は何か、書きなさい。

(2007年徳島県)



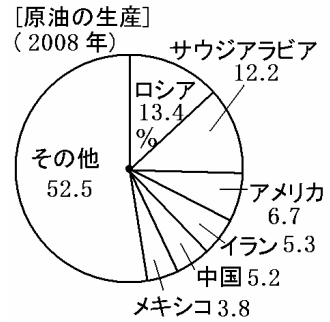
[解答欄]

[解答]原油

[解説]

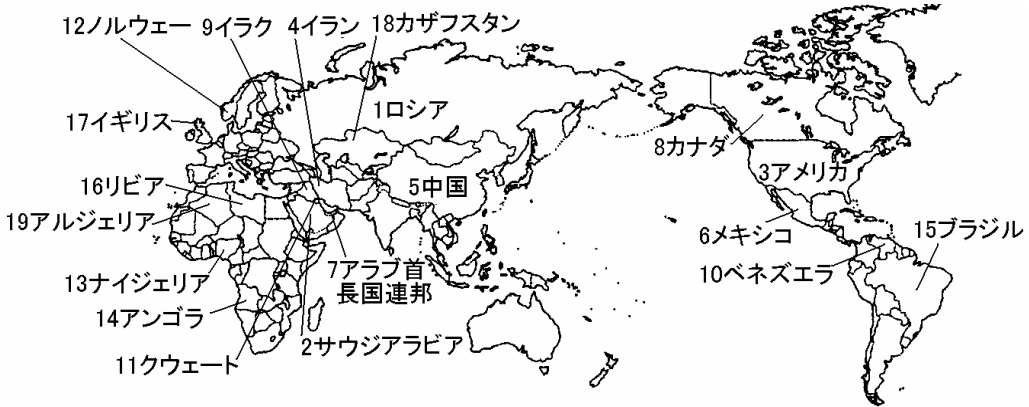
[解説]

世界の石油埋蔵量の2/3は、ペルシア湾沿岸を中心とする西アジアに集中している。また、石油の生産量・輸出量ともにペルシア湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。



原油の生産世界一はロシアで、アメリカが第三位であるが、いずれも埋蔵量はそれほど多くなく可採年数は10~20年と短い。これに対し、西アジアのアラブ産油国の場合、可採年数は80~130年となっている。

石油産出国上位19か国(2008年)をあげると、1 ロシア , 2 サウジアラビア , 3 アメリカ , 4 イラン , 5 中国 , 6 メキシコ , 7 アラブ首長国連邦 , 8 カナダ , 9 イラク , 10 ベネズエラ , 11 クウェート , 12 ノルウェー , 13 ナイジェリア , 14 アンゴラ , 15 ブラジル , 16 リビア , 17 イギリス , 18 カザフスタン , 19 アルジェリア ~ は石油輸出順位



統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P122

[問題]

図中の は、ある鉱産資源の産出量上位5か国(2008年)を示している。この鉱産資源は何か。次の[]から一つ選びなさい。

[石油 鉄鉱石 石炭 ポークサイト]

(2009年山口県)



[解答欄]

[解答]石油

[解説]

西アジアの2国(サウジアラビアとイラン)が産出量上位5か国には入っていることから、この鉱産資源は石油だとわかる。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P122

[問題]

略地図中に ~ で示した地域のうち、石油が集中して分布している地域はどこか。二つ選んで、その記号を書け。

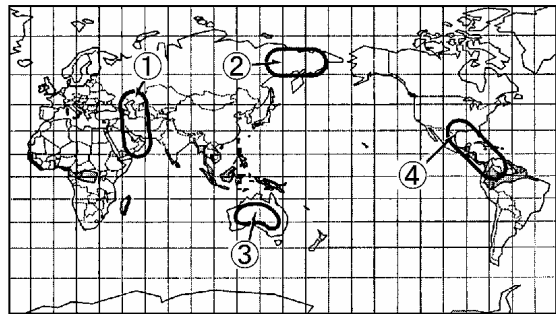
(2006年香川県)

[解答欄]

[解答] と

[解説]

の区域にはメキシコ、ベネズエラ、ブラジルという3つの産油国が入っている。



[問題]

次の資料は、インドネシア、メキシコ、ベトナムの主な輸出品目とその輸出額を示している。資料中の[]には、ここ数年、産出量でロシア連邦が世界第 1 位となっている鉱産資源が共通して入る。この鉱産資源名を書きなさい。

国名	インドネシア		メキシコ		ベトナム	
順位	輸出品目	輸出額 (百万ドル)	輸出品目	輸出額 (百万ドル)	輸出品目	輸出額 (百万ドル)
1	機械類	11,695	機械類	94,408	[]	7,373
2	天然ガス	9,993	自動車	39,435	衣類	4,681
3	[]	8,169	[]	34,707	はきもの	3,079
輸出総額	100,799		249,961		32,447	

(2009 年青森県)

(世界国勢図会 2008/2009)

[解答欄]

[解答]石油

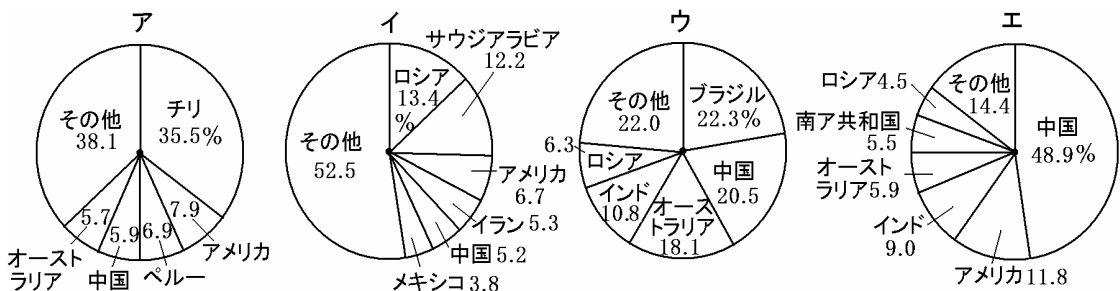
[解説]

主要な地下資源の産出量世界一位は、石油と天然ガスはロシア、石炭は中国、ウランはカナダ、鉄鉱石はブラジル、銅鉱はチリ、ボーキサイトはギニアである。

インドネシアは石油や天然ガスを輸出している。メキシコはメキシコ湾岸油田で採掘した石油を主にアメリカに輸出している。ベトナム南部の沖合では海底油田が開発されている。1986年に生産がはじまった南部沖の油田は、これまでのところ年々生産量が伸びており、現在は原油がベトナム最大の輸出品となっている。

[問題]

次のア～エは、原油(2008年)、石炭(2005年)、鉄鉱石(2006年)、銅鉱石(2006年)のいずれかの資源の主な産出国とその産出量の割合を表したグラフです。ア～エのうち、鉄鉱石を表しているものはどれですか。1つ選び、その記号を書きなさい。



(2007 年岩手県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは銅鉱石^{どうこうせき}，イは原油^{げんゆ}，ウは鉄鉱石^{てつこうせき}，エは石炭。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P117・122・205・210

[問題]

ブラジルでは、さとうきびから作られたバイオエタノールを、ガソリンに混ぜたり、ガソリンの代わりに使ったりしている。バイオエタノールは、大気中の二酸化炭素の増加を抑制することができる燃料として期待されている。そのほかに、バイオエタノールには石油と比べてどのような利点があるか、下の資料からわかることを含めて書きなさい。

世界の原油生産量(2006年)	42.1 億 kl
世界の原油の確認埋蔵量(2006年)	2094.7 億 kl

(2007年石川県)

[解答欄]

[解答]石油は限りある資源であるが、バイオエタノールはさとうきびを栽培することによって新たに作ることができる。

統計修正：「日本国勢図会 2007/2008 年版」P114

[問題]

原油の自給率の算出方法として最も適切なものを選び、記号を書きなさい。

ア 消費量÷輸入量×100 イ 輸入量÷産出量×100

ウ 輸入量÷消費量×100 エ 産出量÷消費量×100

(2007年富山県)

[解答欄]

[解答]エ

【】各発電方法の割合

[問題]

資料中のア～ウが示す発電の原動力は、それぞれ、火力発電・水力発電・原子力発電のうちのどれか。

(2007年福岡県)

[解答欄]

ア	イ
ウ	

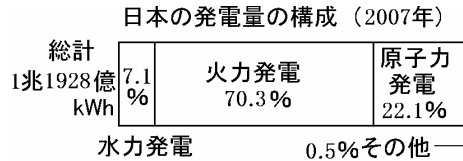
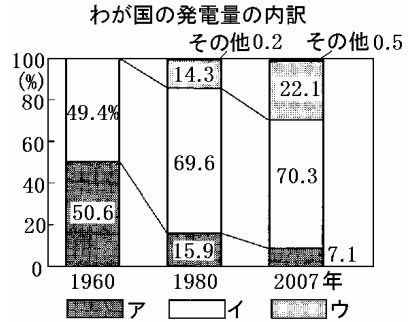
[解答]ア水力発電 イ火力発電 ウ原子力発電

[解説]

現在の日本の発電はグラフのように、火力発電が6～7割、原子力発電が2～3割、水力発電が1割弱である。

戦後すぐのころは、山がちで水資源の多いわが国の特色を生かした水力発電(図のア)が主力であった。しかし、水力発電のためのダムを建設できる場所には限りがあるため、その後、中東からの安価な石油を利用した火力発電(図のイ)が主力になった。1966年に、最初に原子力発電所が茨城県東海村に建設されたが、原子力発電(図のウ)が大きく伸びるきっかけになったのは、70年代初めにおきた石油危機で石油価格が高騰したことである。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P131



[問題]

資料の [斜線] の部分の発電方法として正しいものを、次から1つ選んで書け。(火力・原子力・地熱・太陽光・水力)

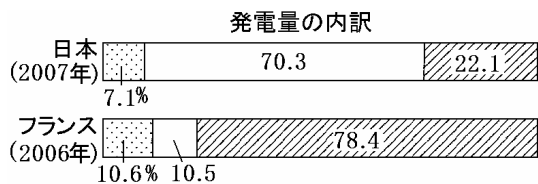
(2007年福井県)

[解答欄]

[解答]原子力

[解説]

フランスは原子力発電の割合が約8割と非常に高いのが特徴。入試問題にもよく出題される。統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P131・135



[問題]

次の表は、アメリカ、フランス、オーストラリアと日本の 2005 年の発電量、発電エネルギー源別割合と国土面積を示したものである。フランスにあたるものを表の A～E から 1 つ選び、その記号を書け。

	発電量 (億 kWh)	発電エネルギー源別割合(%)				国土面積 (万 km ²)
		水力	火力	原子力	その他	
A	11,579	7.5	65.8	26.3	0.4	37.8
I	2,511	6.3	93.3	0	0.4	774.1
U	42,864	6.8	73.5	18.9	0.8	962.9
E	5,754	9.8	11.5	78.5	0.2	55.2

(2007 年長崎県)

[解答欄]

[解答]E

[解説]

げんしりょくはつでん

原子力発電の比率が焼く 8 割である E がフランスであることはすぐにわかる。

A は国土面積(37.8 万 km²)と各発電の比率から日本だと判断できる。発電量が飛び抜けて多い U はアメリカで、残りの I はオーストラリアである。

統計修正：「世界国勢図会 2008/2009 年版」P206～209

【】各発電方法の立地・特色

[問題]

地図中の 印の都市の主な発電所において、共通にみられる発電方法は何かと考えられますか。次から選びなさい。



[水力発電 地熱発電 原子力発電 火力発電]

(2007年広島県)

[解答欄]

[解答]火力発電

[解説]

わが国の火力発電所は太平洋ベルトの海岸部に集中している。燃料の石油・天然ガス等の輸入に便利で、しかも、大工業地帯や大都市といった消費地に近いという利点があるからである。

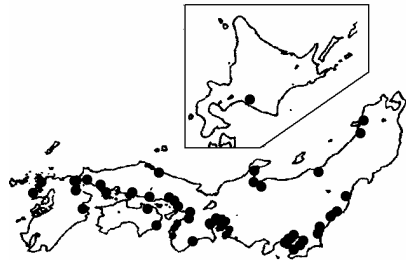
[問題]

右図の は、日本国内の主な火力発電所の位置を示したものである。分布の特徴を次の語句を使って説明しなさい。

[電力 需要 輸入]

(2004年富山県)

[解答欄]



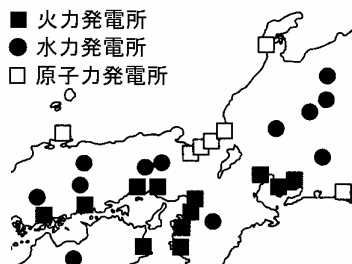
[解答]石油や石炭等の燃料の輸入がしやすく、電力需要の多い工業地域や大都市の臨海部に立地している。

[問題]

図は主な火力発電所、水力発電所、原子力発電所の位置を示したものである。水力発電所の位置の特徴について、簡潔に書きなさい。

(2009年茨城県)

[解答欄]



[解答]山地に位置している。

[問題]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 右の資料は、日本の電力構成の推移を示しており、A～Cは、火力発電、水力発電、原子力発電のいずれかである。このうち、Bは一般的にどのような場所に立地しているか、次の2語を用いて、35字程度で書きなさい。

	A	B	C	その他
1980年	15.9	69.6	14.3	0.2
1990年	11.2	65.0	23.6	0.2
2007年	7.1	70.3	22.1	0.5

[電力需要 原料輸入]

- (2) 資料のその他に含まれる発電方法を1つ書きなさい。

(2006年青森県)

[解答欄]

(1)	
(2)	

[解答](1) 原料輸入がしやすく、電力需要の多い大都市に近い臨海部に立地する。(2) 太陽光発電(風力発電、地熱発電など)。

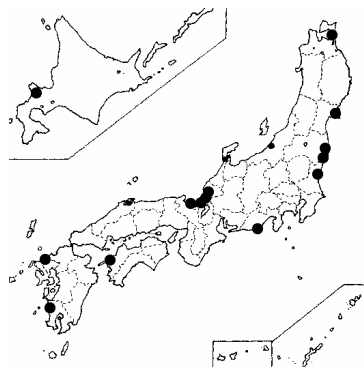
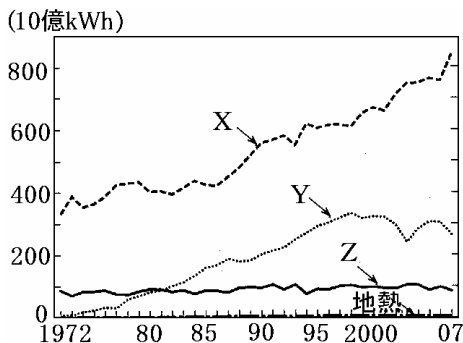
[解説]

Aは水力発電、Bは火力発電、Cは原子力発電。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P131

[問題]

地図中の は、水力発電所、火力発電所、原子力発電所のいずれかの分布のようすを示したものである。また、次の図は、我が国の水力、火力、原子力の発電量の推移をそれぞれ示したものである。 は、どの発電所の分布のようすを示したものが答えなさい。また、その発電による発電量の推移を示したものは、右の X～Zのうちのどれですか。



(2007年岡山県)

[解答欄]

--	--

[解答]原子力発電所 / Y

[解説]

1966年に、最初の原子力発電所が茨城県東海村に建設された。原子力発電所が建設されている地域は、若狭湾沿岸など、大量の冷却水(海水)を得やすく、かつ地盤が固い海岸の近くである。原子力発電所が多いのは、福井県若狭湾沿岸(22.8%)・福島県太平洋岸(18.3%)・新潟県日本海岸(16.6%)である。なお、グラフのXは火力、Yは原子力、Zは水力である。

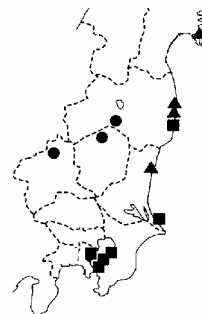


統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P131

[問題]

、 、 は火力、水力、原子力発電所のいずれかを示している。それぞれの発電所を示しているか、書きなさい。

(2009年青森県)



[解答欄]

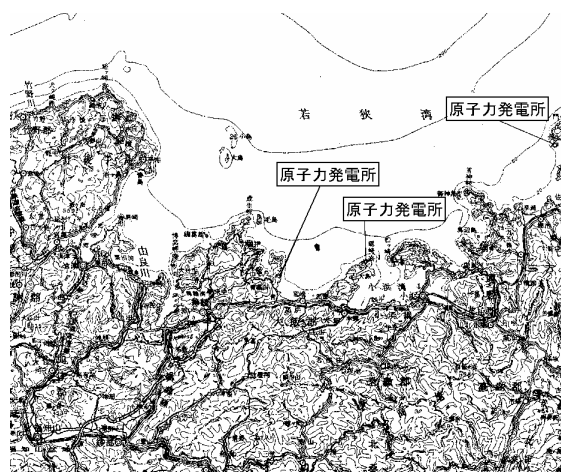
:	:	:
---	---	---

[解答] : 水力発電所 : 原子力発電所 : 火力発電所

[問題]

地図中の原子力発電所について正しく説明したものを、次のア～エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

- ア これらの発電所は、多量の水を必要とするために山間部につくられている。
- イ これらの発電所は、大気汚染が問題になっているが、大都市付近につくられている。
- ウ これらの発電所は、地震からの被害を防ぐために岩盤が固い臨海部につくられている。
- エ これらの発電所は、年間を通して安定した風の力が得られる場所につくられている。



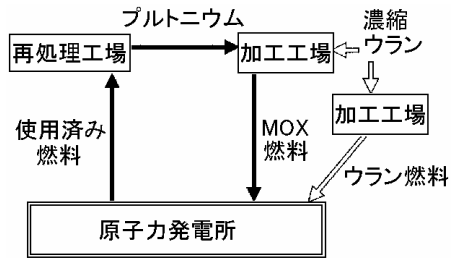
(2007年佐賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

図のような、原子力発電における使用済み燃料の再利用計画を何というか、6字で答えなさい。ただし、図中の「MOX燃料」とは、使用済み燃料から取り出したプルトニウムとウランを混合させた燃料である。



(2007年島根県)

[解答欄]

[解答]プルサーマル

[解説]

原子力発電の燃料となるウラン資源の埋蔵量は、化石燃料と同様に限りがあり、再利用をしないと今後数十年で枯渇するおそれがある。原子力発電は、ウランの原子核が分裂するときに発生する膨大なエネルギーを利用するものであるが、ほんの一部のエネルギーを取り出しているにすぎない。原子炉における核分裂の際、ウランの一部は中性子を吸収してプルトニウムに変化するが、このプルトニウムにはまだ多くのエネルギーが残されている。このプルトニウムを原子力発電で再利用する計画がプルサーマルである。

【】自然エネルギーなどによる発電

[問題]

石油にかわるエネルギーとして、さまざまなエネルギーが開発され利用されている。その中で、風力、太陽光などの自然エネルギーの長所と短所を、それぞれ簡潔に書きなさい。

(2007年岐阜県)

[解答欄]

[解答]長所：二酸化炭素などの発生を抑制できる。 短所：出力が不安定である。

[解説]

現在のエネルギー源の中心は、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料、それと原子力発電のウランであるが、いずれも、数十年のうちに枯渇すると予想されている。風力発電・太陽光発電・地熱発電・波力発電など自然エネルギーを利用した発電の場合、資源が枯渇することはない。しかも、石油などの化石燃料のように、地球温暖化をもたらす二酸化炭素を発生させることもない。しかし、自然条件に左右されるため出力が不安定で、設備費用が大きいいため、従来のエネルギーに取って代わることは期待できない。

化石燃料等にかわるエネルギーとして近年注目を集めているのは、バイオマスである。石油資源の減少と原油価格の高騰により、トウモロコシやサトウキビなどを原料とするバイオエタノールの需要が増大している。例えば、トウモロコシを大量に栽培しているブラジルでは、バイオエタノールの生産が増加しており、バイオエタノールで走る自動車も普及してきている。日本の自動車メーカーも、エタノール100%にも対応する自動車を開発し、ブラジルに輸出している。

[問題]

現在、日本では、従来のエネルギーによる発電にかわるものとして、太陽光や風力などの自然のエネルギーを利用した発電の開発が進められており、その普及が期待されている。太陽光や風力などの自然のエネルギーを利用した発電の利点を、実用化を進める上での課題とあわせて、簡単に書きなさい。

(2007年静岡県)

[解答欄]

[解答]自然条件に左右されやすく費用もかかるが、枯渇することがなく環境を汚染する心配も少ない。

[問題]

化石燃料を用いた発電と比較したときの、太陽光発電の利点を、「排出」ということばを使い、簡単に書きなさい。

(2007 年北海道)

[解答欄]

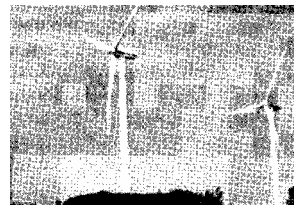
--

[解答]太陽光発電では、二酸化炭素が排出されない。

[問題]

次の問いに答えなさい。

- (1) 次の写真は島根県内に設置されている発電施設である。これは何の力を利用して発電しているか、答えなさい。
- (2) 写真のように、燃料となる資源の枯渇の心配が少ない発電方法として適当でないものを、次から 1 つ選びなさい。



[波力発電 火力発電 太陽光発電 地熱発電]

(2007 年島根県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 風 (2) 火力発電

[問題]

現在、太陽光や風力などの自然エネルギーを利用した新しい発電の方法には、どのような課題があるか、最も適当なものを次のア～エから 1 つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 放射性廃棄物の処理・処分が難しい。
- イ 化石燃料を大量に消費する。
- ウ 発電能力が小さく安定した供給が難しい。
- エ ダムの建設による生態系への影響がある。

(2009 年三重県)

[解答欄]

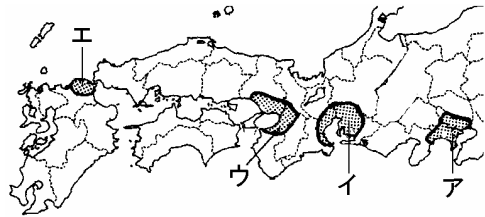
--

[解答]ウ

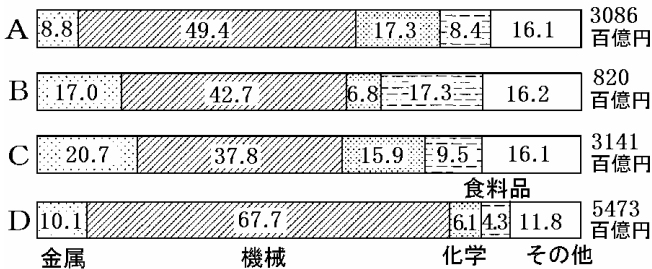
【】日本の工業地帯

[問題]

下のグラフは、それぞれ 2001 年における、地図中のア～エの工業地帯や工業地域のいずれかの工業製品生産額とその工業別割合を表したものである。イの工業地帯に当たるものを、A～D から 1 つ選び、その記号を書け。



主な工業地帯・地域の産業別出荷額割合(2006年)



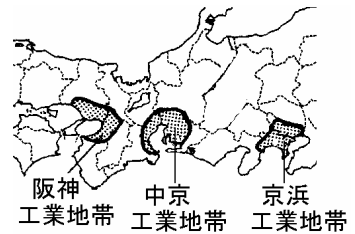
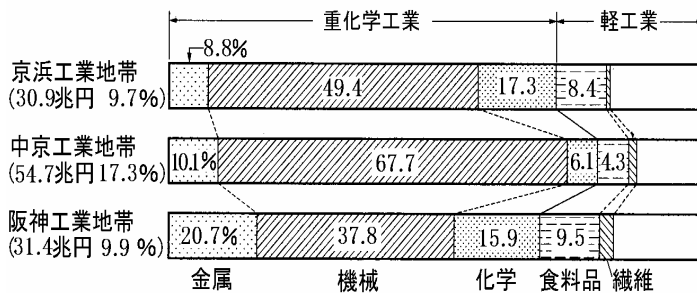
(2007 年愛媛県)

[解答欄]

[解答]D

[解説]

主な工業地帯の産業別出荷額割合(2006年)



戦後から 1980 年半ばまでは、出荷額は、^{けいひん}京浜工業地帯・^{はんしん}阪神工業地帯・^{ちゅうきょう}中京工業地帯の順であったが、80 年代後半に中京工業地帯が阪神工業地帯を追い抜き、1999 年以降は、中京工業地帯は京浜工業地帯を抜いて日本一の工業地帯になった。中京工業地帯の出荷額の伸びをもたらしたのは、^{とよた}豊田市を中心とする自動車の生産である。中京工業地帯の中心である愛知県で、県の工業製品出荷額の 4 割以上を占めるのは自動車(輸送機械)である。

グラフの A～D のうち、出荷額が一番大きい D が中京工業地帯であるとわかる。また、D のグラ

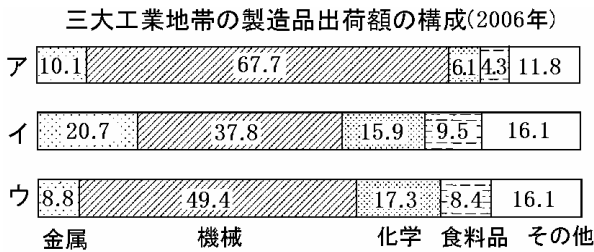
フでは機械工業(自動車工業など)のしめる割合が A~C にくらべて大きいことから中京工業地帯と判断できる。

京浜工業地帯と阪神工業地帯は出荷額がほぼ同じであるが、阪神工業地帯は金属のしめる割合が比較的に大きいという特色がある。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P197・198

[問題]

中京工業地帯の製造品出荷額の構成を表しているのは、図のア~ウのどれか。



(2006 年鹿児島県)(2006 年岡山県)

[解答欄]

[解答]ア

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P198

[問題]

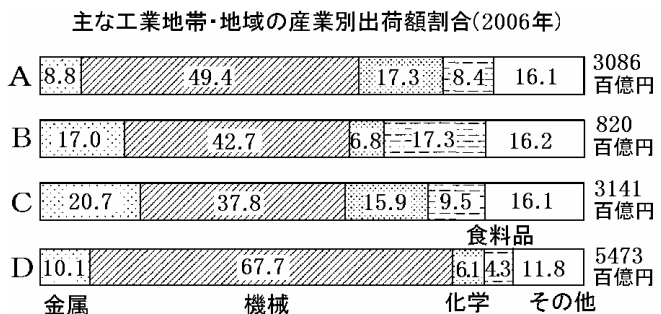
右の資料の A~D は、京浜、阪神、中京、北九州の各工業地帯・地域を示している。D の工業地帯・地域名を書け。

(2006 年福井県)

[解答欄]

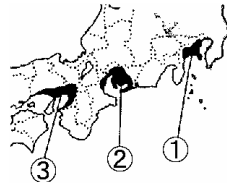
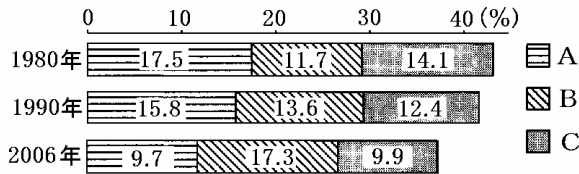
[解答]中京工業地帯

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P197・198



[問題]

下のグラフは、全国の工業製品出荷額に占める地図中の ~ の工業地帯の割合の推移を示したものであり、A~Cは ~ のいずれかである。工業製品出荷額が全国1位(2006年)の都道府県を含むBの工業地帯の名称を書け。また、その地域を ~ から選び、その番号を書け。



(2006年長崎県)

[解答欄]

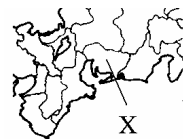
[解答]中京工業地帯 /

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P197

[問題]

地図中の県Xについて、この県を含む工業がさかんな地域の名称として、最も適当なものを、次から1つ選びなさい。

[阪神工業地帯 北陸工業地域 中京工業地帯 瀬戸内工業地域]



(2007年新潟県)

[解答欄]

[解答]中京工業地帯

[解説]

ちゅうきょう 中京工業地帯は愛知県(X)を中心とし・岐阜・三重にもまたがる総合工業地帯である。

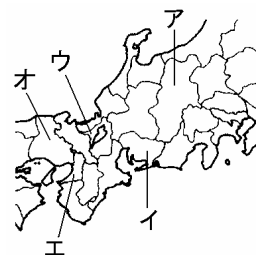
[問題]

中京工業地帯を形成する上で中心となる県を、地図のア~オから1つ選んで記号を書き、その県名も書きなさい。

(2006年長野県)

[解答欄]

[解答]イ / 愛知県



[問題]

愛知県は中京工業地帯の中心地であるが、この工業地帯で主に生産されている機械類について適切なものを下から1つ選びなさい。

[自動車 コンピュータ 電気通信機器 時計]

(2006年沖縄県)

[解答欄]

[解答]自動車

[問題]

北九州工業地帯を示したものとして最も適当なものを、AからDまでの中から選んで、その符号を書け。なお、表中のA、B、C、Dは、北九州、阪神、中京、京浜のいずれかの工業地帯(工業地域)を示している。

(2007年愛知県)

[解答欄]

[解答]D

[解説]

4つの中で出荷額が極端に小さいDが北九州工業地帯であると判断できる。

Aは中京工業地帯、Bは京浜工業地帯、Cは阪神工業地帯である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P197

工業地帯	工業製品出荷額(十億円)	
	1980年	2006年
A	25102	54734
B	37613	30861
C	30263	31408
D	5834	8202
全国	214700	316894

[問題]

次のグラフは、1960年と2004年における日本の工業別の出荷額の割合を表したものである。グラフ中のa~cには、それぞれ機械、せんい、化学のいずれかが当たる。a~cそれぞれ当たる工業名の

	金属	a	b	食料品	c	その他
1960年	18.8%	25.8	11.8	12.4	12.3	18.9
2006年	13.4%	47.0		13.2	10.2	14.8

1.4

組み合わせとして適当なものを、ア~エから1つ選び、その記号を書け。

ア a化学 b機械 c せんい

イ a機械 b化学 c せんい

ウ a化学 bせんい c 機械

エ a機械 bせんい c 化学

(2006 年愛媛県)

[解答欄]

[解答]イ

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010 年版」P192

[問題]

次の表は、1965 年と 2005 年における全国の製造品出荷額に占める京浜、中京及び阪神工業地帯のそれぞれの割合を示したものである。次の文の、の()から適切なものを選びなさい。

年	京浜工業地帯	中京工業地帯	阪神工業地帯
1965	24.2%	10.8	18.9
2005	10.3	16.5	10.1

日本の工業は、京浜、阪神などの工業地帯を中心に発展してきたが、2005 年の全国の製造品出荷額に占める京浜、中京及び阪神工業地帯の割合の合計は、1965 年のそれに比べて約 (2 分の 1 / 3 分の 2) になっている。これは、空港や (高速道路 / コンビナート) がつくられ小型・軽量で高価な電子部品が東北地方や九州地方などで生産されるようになるなど、工業の地方分散化が進んだことが一因である。


(2009 年愛知県)

[解答欄]

[解答] 3 分の 2 高速道路

【】太平洋ベルト

[問題]

略地図中の  で示した地域を中心として、沿岸部に連続して立地している臨海工業地域は何とよばれているか。6字で書け。

(2007年愛知県)(2007年茨城県)(2006年長野県)(2006年栃木県)

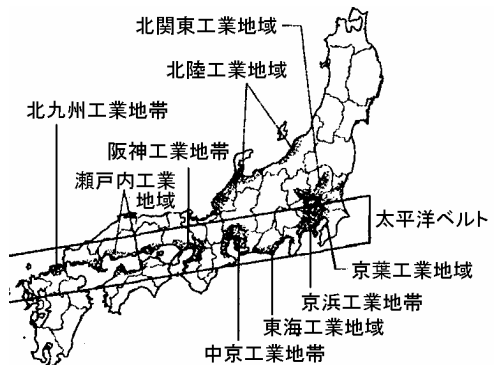


[解答欄]


[解答]太平洋ベルト

[解説]

日本の工業地帯・地域は原料や燃料の輸入や工業製品の輸出に有利な臨海部に発達している(海上輸送は陸上輸送よりも輸送コストが格段に少ない)。現在の工業地帯・工業地域は太平洋ベルトとよばれる、京浜工業地帯・北関東工業地域・京葉工業地域 - 東海工業地域 - 中京工業地帯 - 阪神工業地帯 - 瀬戸内工業地域 - 北九州工業地帯と、臨海部に帯状につらなる一帯に集中している。



[問題]

右の資料の  の地域には、工場が集中して立地しているが、その理由を資源に注目して説明せよ。

(2006年福井県)(2006年福島県)



[解答欄]

[解答]海外から船で原料を輸入するのに便利であり、また製品を輸送するのに便利だから。

[問題]

太平洋ベルトの説明として適切でないものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 新幹線や空港、港湾が整備され人や物の移動が盛んである。
- イ 臨海工業地域が連なり、わが国の工業の中心である。
- ウ 海からの冷却水が得やすく、原子力発電所が集中している。
- エ 工業化が進み、人口が集中し、環境汚染や都市問題が起きている。

(2004年奈良県)

[解答欄]

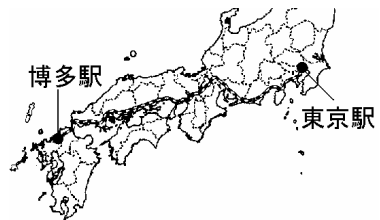
[解答]ウ

[解説]

ウが誤り。原子力発電所が多いのは、若湾沿岸、福島県、新潟県など太平洋ベルトの外である。

[問題]

東海道新幹線および山陽新幹線を使って、東京駅から博多駅(福岡市)までを移動すると、太平洋ベルトとよばれる地域にそって、どのような順で日本の主な工業地帯および工業地域を通るか、正しいものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。



- ア 京浜、中京、東海、阪神、瀬戸内、北九州の順に通る。
- イ 京浜、中京、東海、瀬戸内、阪神、北九州の順に通る。
- ウ 京浜、東海、中京、瀬戸内、阪神、北九州の順に通る。
- エ 京浜、東海、中京、阪神、瀬戸内、北九州の順に通る。

(2006年三重県)(2007年長崎県)

[解答欄]

[解答]エ

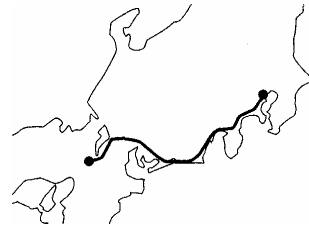
[問題]

東海道新幹線を利用して、右の資料に示したルートで京都駅から東京駅へ行った。このとき通る工業地帯・地域はどれか、次から2つ選び、通る順に書け。

[京浜工業地帯 北陸工業地域

中京工業地帯 瀬戸内工業地域]

(2007年京都府)



[解答欄]

--	--

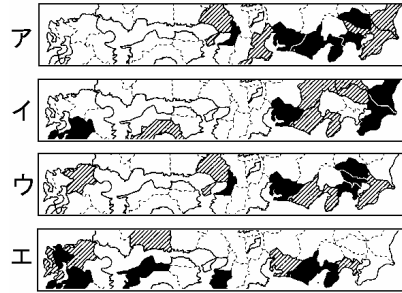
[解答]中京工業地帯，京浜工業地帯

【】都道府県の工業製品出荷額順位

[問題]

次のア～エは、2002年の工業製品出荷額、みかんの生産量、野菜の生産量、2004年の人口のいずれかを、全国1位～5位を●で、6位～10位を○でそれぞれ都道府県別に示したものです。このうち、工業製品出荷額を示しているものはどれですか。次のア～エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。

(2006年岩手県)



[解答欄]

[解答]ア

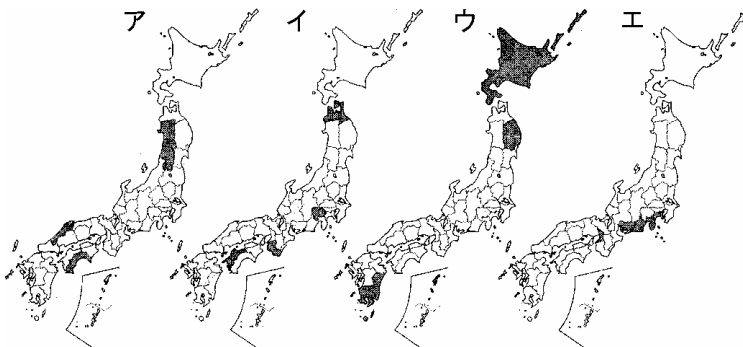
[解説]

工業製品出荷額(2006年)が第1位であるのは、日本最大の^{ちゅうきょう}中京工業地帯がある愛知県である。第2～5位は、神奈川・静岡・大阪・兵庫の順である。したがって、アが工業製品出荷額である。イは野菜の生産量、ウは人口、エはみかんの生産量を表している。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P535

[問題]

次のア～エの略地図は、2003年の都道府県別の果実の生産額、畜産物の生産額、工業製品出荷額、65歳以上の人口比について、それぞれ上位1位～4位を■で示したものである。ア～エのうち、工業製品出荷額を示した略地図はどれか。1つ選んで、その記号を書け。



(2007年香川県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

愛知・神奈川・静岡・大阪がはいっていることからエが工業製品出荷額を表していると判断できる。アは65歳以上の人口比, イはリンゴ・ミカン・ブドウの産地があるので果実の生産額, ウは鹿児島・北海道から畜産物ちくさんぶつの生産額と判断できる。

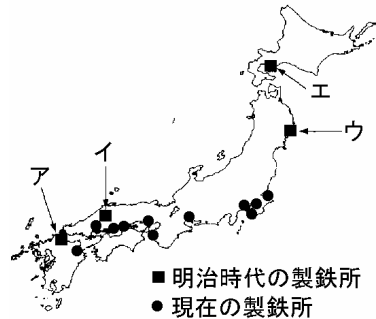
【】立地条件：重化学工業

[問題]

次の問いに答えなさい。

- (1) 八幡製鉄所の位置を，地図のア～エから1つ選び，記号で答えなさい。
- (2) 現在の製鉄所はどのような場所につくられているか，その理由を地図をもとに，簡潔に述べなさい。

(2007年宮城県)



[解答欄]

--	--

[解答](1) ア (2) 原料や製品の輸送に有利な臨海部の工業地域につくられている。

[解説]

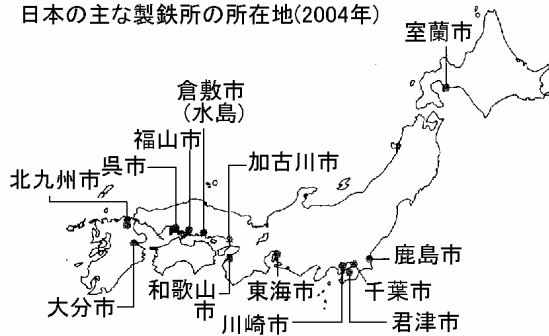
八幡製鉄所は，日清戦争で得た賠償金などをもとにして，北九州につくられた。この地が選ばれたのは，付近に石炭の炭田(かつての筑豊炭田)があり，また，鉄鉱石の輸入先である中国に近かったからである。しかし，戦後，鉄鉱石と石炭の輸入先はオーストラリアなどに変わったため，北九州の立地上の優位性はなくなり，消費地に近く，かつ原料の輸入や製品の輸送に便利な他地域の臨海部に新しい製鉄所が作られるようになった。

[問題]

日本のおもな製鉄所は，どのようなところに立地しているか，その理由をふくめて簡潔に書きなさい。

(2006年宮崎県)

日本の主な製鉄所の所在地(2004年)



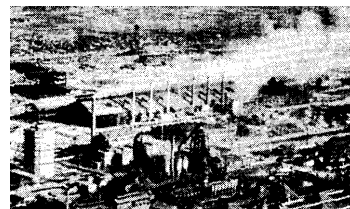
[解答欄]

--	--

[解答]海外からの鉄鉱石・石炭の輸入や製品の輸送に便利な沿岸部に立地している。

[問題]

右の資料は、戦後初めて千葉市の埋め立て地に進出した製鉄所の写真です。このように製鉄所や石油化学工場が、東京湾岸などの沿岸部を選んで建てられてきた理由を述べなさい。



(2005 年宮城県)

[解答欄]

[解答]原料の輸入や製品の輸送に便利だから

[問題]

兵庫県、化学工業、鉄鋼業や山口県、化学工業、石油製品工業、鉄鋼業の工場は、原料の輸入に便利な()部に多く立地している。

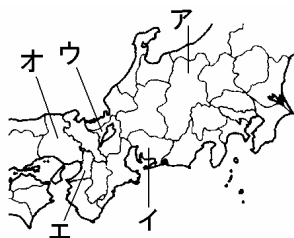
(2006 年兵庫県)

[解答欄]

[解答]臨海

[問題]

Hさんは、資料と地図を比べ、面積の増えている府県には共通点があることに気づいた。そして、これらの府県が共通点を生かし、どのようにして面積を増やしたか、次の文にまとめた。文中の



各府県の面積(km ²)		
府県	1996年	2004年
ア	13585	13585
イ	5151	5163
ウ	4017	4017
エ	1893	1894
オ	8388	8394

の中から適切な語句を選び、 に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

面積が増えた府県は (臨海部 / 内陸部) にあり、() を行って用地を造成した。

(2006 年長野県)

[解答欄]

[解答] 臨海部 埋め立て

[解説]

面積が増えている県はイの愛知県、エの大阪府、オの兵庫県で、いずれも臨海部に位置している。

[問題]

右の資料のグラフのア～エは、それぞれ、日本、ロシア、中国、韓国のいずれかの鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものです。日本の鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものはどれか、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(2005年山形県)

[解答欄]

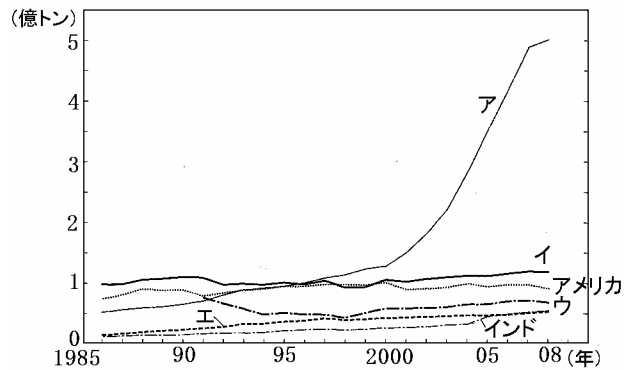
[解答]イ

[解説]

日本は1990年代半ばまでは鉄鋼生産額が世界一であった。しかし、中国の粗鋼生産(ア)が驚異的なペースで増え、1996年に初めて1億トンをこえて世界一となり、2003年には2億トン、2006年には4億トンに達した。

ウはロシア、エは韓国である。

統計修正：「日本国勢図会 2009/2010年版」P203



【】立地条件：IC 工業など

[問題]

九州地方の県には、IC(集積回路)を生産する工場が多く進出しています。出荷先から離れているにもかかわらず、IC 工場が進出している理由を、製品の輸送に着目して、書きなさい。

(2005 年山形県)

[解答欄]

[解答]IC は、価格のわりに小さく軽いので、飛行機などで輸送しても採算にあうから。

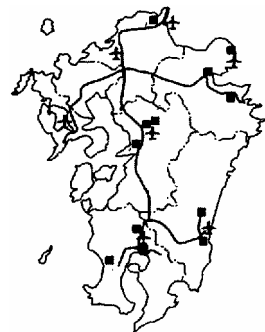
[解説]

鉄鋼業などは内陸部には発達しにくい。鉄のように価格の割に重いものは、陸上輸送のコストが大きすぎるために採算がとれなくなるからである。これに対し、IC のように軽量であるわりに値段が高いものは、輸送コストが小さくて済み、陸上輸送、さらには、航空機による輸送でも、輸送コストの負担は小さい。そのため、IC の工場は、東京周辺のほか、九州(シリコンアイランド)や東北地方(シリコンロード)にも、安い工場用地と豊富な労働力を求めて、空港や高速道路の近くに進出している。



[問題]

九州地方には、IC(集積回路)を生産する工場が多くみられます。次の地図中の □ は主な IC 工場を、+ は主な空港を、太い線は主な高速道路をそれぞれ示しています。IC 工場が地図に示すような場所にみられるのはなぜだと考えられますか。その理由を簡潔に書きなさい。



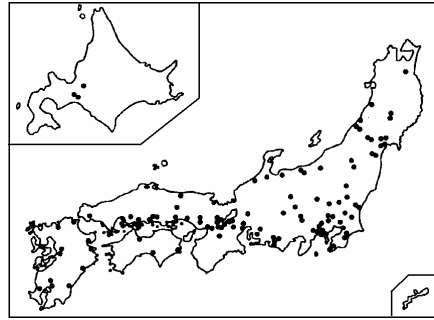
(2009 年広島県)

[解答欄]

[解答]IC は価格のわりに小さく軽いので、飛行機や高速道路を使った輸送に適しているから。

[問題]

右図は主なIC工場の分布(2005年)を示している。
IC工場の分布と最も強い関連が見られるのはどれか。



- ア 原子力発電所の位置
- イ 高速道路の路線網
- ウ 都道府県庁所在地
- エ 石油(原油)の輸入港の位置

(2008年栃木県)

[解答欄]

[解答]イ

[問題]

電子部品であるIC(集積回路)などをつくる工場は、東北各県でも空港や高速道路の近くに多く進出しているが、ICを飛行機や高速道路を使って輸送しても採算がとれる理由を製品の特徴の面から書きなさい。

(2006年兵庫県)

[解答欄]

[解答]小型で軽量であるわりに値段が高いため。

[問題]

近年、内陸部において、空港や高速道路の近くにつくられてきたのは、どのような工場ですか。次から選びなさい。

[製鉄工場 自動車工場 セメント工場 IC工場]

(2007年和歌山県)

[解答欄]

[解答]IC工場

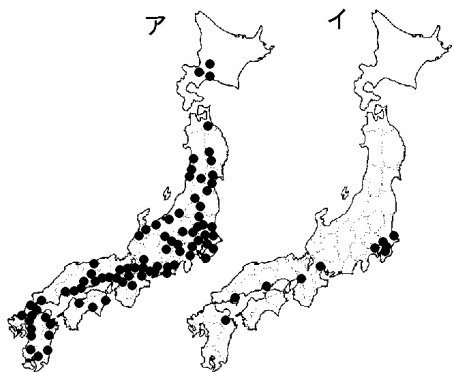
[問題]

右の資料中のア、イは、IC工場、石油化学工場のいずれかの分布を示している。石油化学工場の分布を示しているのはどちらか、記号で答えよ。また、そう判断した理由を、「原油」の語句を使って書け。

(2006年福岡県)

[解答欄]

[解答]イ / 石油化学工場は原油の輸入に便利な臨海部に立地しているから。



●印は主な工場の位置を示している

[問題]

1班は、IC工場の立地条件を調べるため、右の図を作成した。これからの調べ学習について、先生から下のアドバイスもらった。文中の下線部に関して、1班が探す資料として適切でないものを、次のア～エから1つ選び、記号で書きなさい。

IC関係部品は価格の割に小さくて軽いから、輸送にあまりお金がかからない。また、都市部ではない地域や内陸部にも工場が建てられているよね。全国的にもそういう傾向があるのかな? たとえば、図に加えて、さらこんな資料も探してみたらどうかな。

- ア 全国のIC工場分布図
- イ 日本のICの総出荷額
- ウ 高速道路地図・空港分布図
- エ IC工場用地の地価

(2006年山梨県)

[解答欄]

[解答]イ

東北地方のIC工場の分布(2004年)



●印は主な工場

[問題]

右の地図の X は、自動車貨物輸送トン数が増えており、工業生産額が伸びている地域である。内陸部のこの地域で工業が発展している理由を、次の語を用いて簡潔に書きなさい。[整備 製品]



(2005 年秋田県)

[解答欄]

[解答] 高速道路などの交通網が整備され、製品の輸送がより容易になったため

[問題]

現在の日本において、内陸部に立地することも多い工業の種類として最も適当なものを次から 1 つ選びなさい。

[石油化学 鉄鋼 造船 食品]

(2006 年大分県)

[解答欄]

[解答] 食品

[解説]

石油化学、鉄鋼、造船などの工業は、石油や鉄鉱石などの原料を外国から船で輸入するため、臨海部につくられる。

【】工場のアジア等への海外進出

[問題]

日本の自動車メーカーは 1980 年代から北米での生産を増やしたが、その背景として最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 南北問題の発生 イ 貿易摩擦の拡大 ウ 自由貿易の推進 エ 冷戦の終結

(2007 年石川県)

[解答欄]

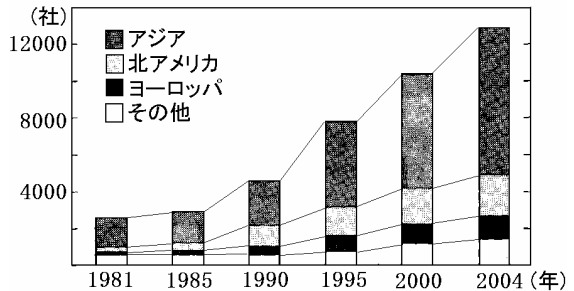
[解答]イ

[解説]

日本は、工業製品を大量に輸出しながら、相手国からの輸入が少ないため、多くの国に対して輸出超過ちゆうがになっている。そのため、相手国の工業が日本製品との競争に敗れて失業問題をおこしたり、相手国が農産品の輸入を増やすよう求めてきたりしている。これを貿易摩擦ぼうえきまさつという。とくに、アメリカとの間では、1960 年代に繊維・鉄鋼・カラーテレビ、70 年代以降は自動車などについて貿易摩擦ぼうえきまさつがおこった。この問題を少しでも解消する目的で、日本の自動車工場がアメリカに進出し、現地生産を始めた。また、アメリカは農産品の輸入拡大を日本に求め、交渉の末、日本は、牛肉・オレンジ・米などの輸入自由化に踏み切った。

[問題]

今日、我が国の経済と世界経済との結びつきは一層強くなっている。次の図は、我が国の製造業の海外現地法人数の推移を示したものである。法人数が最も多い地域に着目して、その数の変化の要因を生産費の面から説明しなさい。(注)現地法人とは、進出先の国の法律に基づいて設立される会社をいう。また、この集計でのアジアは、中国、韓国、台湾、シンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイの 8 か国・地域をさす。



(2007 年岡山県)

[解答欄]

[解答]アジア諸国は、労働賃金が安く、生産費を抑えることができるから。

[解説]

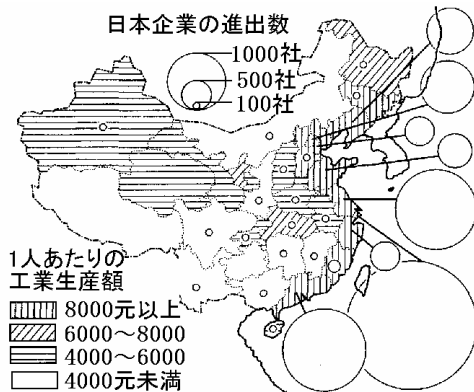
1990年代、国内の不況が長引くなか、競争に生き残るために、人件費の安い海外に工場を設けてコストダウンをはかる企業が増えた。その分だけ、日本国内の工場が減少した。これを産業の空洞化くうどうかという。

[問題]

右の図は、中国の各省の1人あたりの工業生産額と日本企業の進出数を示したものである。図から、日本企業がたくさん進出しているところには、どのような特徴があることがわかるか。その地域的偏りと各省の1人あたりの工業生産額に着目して、簡単に書け。

(2007年香川県)

[解答欄]



[解答]日本企業は、主に沿岸地域の1人あたりの工業生産額が大きい省にたくさん進出している。

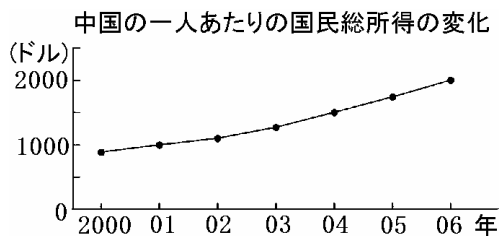
[解説]

日本などの海外の企業が進出しているのは、原料の輸入と製品の輸出に便利で輸送コストが安くてすむ沿岸部えんがんぶである。その結果、沿岸部の各省の1人あたりの工業生産額は内陸部より多くなる。

[問題]

次の2つの資料からわかる、多くの日本企業が中国に工場などを進出させている理由を、「生産」、「消費」という語を用いて、簡潔に書きなさい。

国	人口	労働力人口	製造業の賃金 (日本を100とする)
日本	1.28億人	0.67億人	100.0
中国	13.14億人	6.47億人	4.3



(2009年群馬県)

[解答欄]

[解答]中国には、日本に比べ安くて豊富な労働力があるため、企業は生産にかかる費用を引き下げることができるから。また、人口が多く所得も増加しているため消費も大きいから。

[問題]

近年、日本の自動車メーカーはアジアでの生産を増やし、2005年度の海外における地域別生産では、アジアでの生産が北米を上回り首位となったが、その要因として、アジアでの生産費の安さや需要の増加があげられる。それぞれの理由を1つずつ書きなさい。

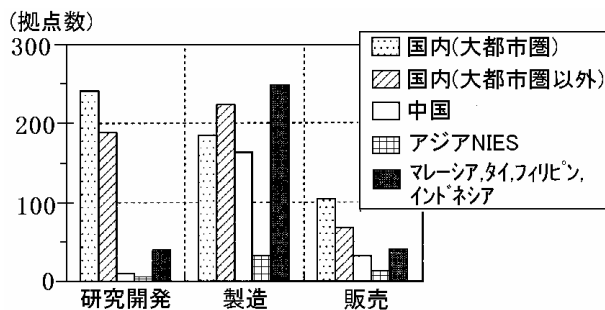
(2007年石川県)

[解答欄]

[解答](生産費の安さの理由)労働者を安い賃金で雇うことができるから。(需要の増加の理由)経済が発展し、高所得層が増加したから。

[問題]

次の資料は、わが国の製造業でアジアに進出している企業の「研究開発」、「製造」、「販売」の部門ごとの拠点数を、5つの地域別に表したものである。



(1) 次の文章は、資料について述べたものである。文中の()~(Z)のそれぞれに当てはまる部門名を書け。

アジアに進出している企業の()部門の拠点数は、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシアの4か国が最も多く、次いで国内大都市圏以外、国内大都市圏、中国の順となっている。(Y)部門と(Z)部門はともに、国内大都市圏に最も多くの拠点を置いているが、(Z)部門は、(Y)部門に比べて中国とアジアNIESの拠点数が多い。

(2) 製造部門では、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシアの4か国と中国に多くの拠点を置いている。その理由は何か。「賃金」の語句を用いて簡潔に書け。

(2007年奈良県)

[解答欄]

(1)X	Y	Z
(2)		

[解答](1) 製造 Y 研究開発 Z 販売 (2) 安い賃金で労働者を雇えるので生産費用が抑えられるから。

[解説]

企業間の厳しい競争に勝ち抜くため、賃金水準の低い国に工場を建て、人件費を減らし、製品の価格を下げる努力を行っている。

[問題]

製造業を中心とする日本企業の海外進出による影響について説明した文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 日本企業が進出した東南アジアでは、労働者の雇用人数が増加したり、製造技術が移植されたりした。
- イ 日本企業の海外生産が増加し、輸入が急増したため、1990年代前半における日本の貿易は、輸入総額が輸出総額を上回っていた。
- ウ 日本企業の欧米への進出による現地での生産や販売は、貿易摩擦の緩和につながっていた。
- エ 日本国内では、製造業を中心に生産の場が海外に移ることにより、工場の閉鎖・縮小という問題が起きた。

(2008年福島県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは正しい。日本企業や欧米などの企業が安い労働力を求めて中国や東南アジアに進出したが、これによって現地の雇用が生まれて所得が増加し、また技術の移転もおこってこれらの国々の経済成長をもたらすきっかけとなった。

イは誤り。日本企業の海外生産が増加することによって、その分輸出が減少し、日本企業が海外で生産した製品を日本へ輸入するため若干輸入が増加したが、輸出総額は輸入総額を上回る貿易黒字の状態は続いている。

ウ、エは正しい。人件費の安い海外に工場を設けてコストダウンをはかる企業が増えたが、その分だけ、日本国内の工場が減少した。これを産業の空洞化くうどうかという。

[問題]

企業が海外に工場や支店を設け、国際的な活動を行うことについて述べた文として誤っているものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書け。

- ア 海外で生産した製品を現地で販売すると、貿易摩擦を起こしたり、為替相場の変動の影響を受けやすくなる。
- イ 資源や原材料の乏しい日本にとって、資源や原材料を安定的に確保することも海外に進出する目的の一つである。
- ウ 日本と比べて労働賃金や物価が安い国に工場をつくることで生産費をおさえることができ、また、現地で販売すれば輸送費もおさえることができる。
- エ 進出した国や地域において、生産するのに必要な原材料の供給市場や生産した製品の消費市場を新たに開拓しやすくなる。

(2009 年愛知県)

[解答欄]

[解答]ア

【】アジアの工業の発展・その他

[問題]

発展途上国の中で、1970年代以降、急速に工業化を進めた国や地域を何といいますか、書きなさい。

(2007年和歌山県)

[解答欄]

[解答]新興工業経済地域(NIEs, ニーズ)

[解説]

NIEs(ニーズ)(新興工業経済地域)とは Newly Industrializing Economies の略で、20世紀後半に急速な経済発展をした国・地域で、1979年に OECD(経済開発協力機構)がシンガポール、韓国、台湾、香港、メキシコ、ブラジル、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、ユーゴスラビアの10カ国・地域を指定した。このうち、シンガポール、韓国、台湾、香港をとくにアジア NIEs とよぶ。

[問題]

シンガポール、韓国、台湾、香港は、1970年代から工業生産が飛躍的に伸びた国や地域である。シンガポール、韓国、台湾、香港をさすアジアにおける新興工業経済地域は、一般に何と呼ばれるか。

(2006年香川県)(2006年奈良県)

[解答欄]

[解答]アジア NIEs

[問題]

発展途上国と先進工業国との間の経済格差とその解消の問題は、南北問題とよばれます。このようによばれる理由を簡潔に書きなさい。

(2007年和歌山県)

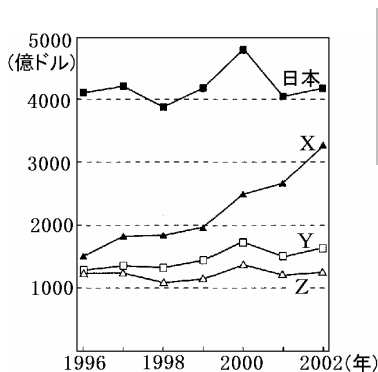
[解答欄]

[解答]発展途上国は南半球に多く、先進工業国は北半球に多いから。

[問題]

次のグラフは、地図の ~Z の国と日本の輸出総額の推移を示し、また、表は、各年の日本の質金を 100 としたときの ~Z の国の質金(製造業)の比率を示している。グラフ、表に関する次の文の(a)には国の名称を、(b)には適する内容を書け。

グラフから、2002 年の輸出総額が 1998 年の 1.5 倍を超えている国があることが読みとれる。その国名は(a)である。表から、その国の特徴として(b)ことが読みとれる。このことは、(a)の輸出総額の増加につながった要因の 1 つであると考えられる。



	1998 年	2002 年
日本	100.0	100.0
X	2.5	3.8
Y	33.2	44.0
Z	53.8	60.7



(2007 年長崎県)

[解答欄]

a	b
---	---

[解答] a 中国 b 日本や他の 2 か国に比べると質金が安い

[解説]

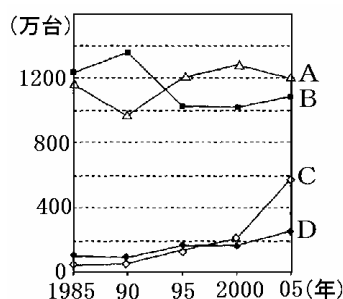
質金が安いと生産費を低くおさえることができるため、他国の企業との競争に有利になる。近年、中国は安い価格によって輸出を急増させている。この問題の 2002 年の輸出額は日本よりまだ少ないが 2004 年に日本をぬいて世界第 3 位になっている(1 位ドイツ 2 位アメリカ、日本は 4 位)。しかし、輸出の急増によってアメリカなどとの間に国際収支の不均衡の問題が生じている。また、製品に有害物質が含まれるなど製品の安全性の問題が起こっている。

[問題]

次の文は、中国の自動車生産台数の変化を説明したものである。この変化を示すグラフを、資料の A~C から 1 つ選びなさい。

中国の自動車生産台数は、1990 年ごろから増加しはじめ、2005 年には 2000 年の約 3 倍になっている。

(2007 年滋賀県)



[解答欄]

[解答]C

[解説]

A はアメリカ合衆国，B は日本，C は中国，D はブラジル。

[問題]

次のグラフは、世界の自動車生産台数の上位国、それらの国々の人口100人あたりの自動車保有台数を示したものである。グラフ中のA～Cに当てはまる国の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから1つ選んで記号で答えなさい。

ア A 日本 - B 韓国 - C 中国

イ A 韓国 - B 日本 - C 中国

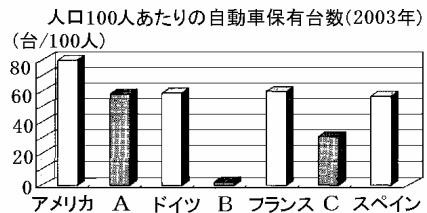
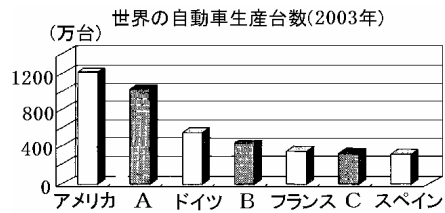
ウ A 中国 - B 韓国 - C 日本

エ A 日本 - B 中国 - C 韓国

(2007年 島根県)

[解答欄]

[解答]エ



[問題]

次の資料は、タイの1983年と2003年における輸出額の上位5品目とその輸出額の輸出総額に占める割合を表したものである。この資料から読み取れるタイの輸出産業の変化を簡潔に書け。

(2007年 奈良県)

1983年		2003年	
1	米 13.8%	1	機械類 37.3%
2	野菜 12.1	2	自動車 5.1
3	天然ゴム 8.0	3	魚介類 4.9
4	魚介類 7.6	4	衣類 4.6
5	衣類 6.4	5	天然ゴム 3.5
輸出総額 63.7 億ドル		輸出総額 803.3 億ドル	

[解答欄]

[解答]輸出産業の中心が、農業から工業に変化した。

[問題]

次の表は、4つの工業製品について生産量の多い順に上位5か国・地域を表したものであり、表中のア～エは、自動車、化学繊維、粗鋼、パルプのいずれかである。パルプにあたるものをア～エからひとつ選び、記号で答えなさい。

	1位	2位	3位	4位	5位
ア	日本	アメリカ	中国	ドイツ	韓国
イ	中国	日本	アメリカ	ロシア	韓国
ウ	中国	台湾	アメリカ	インド	韓国
エ	アメリカ	カナダ	中国	フィンランド	スウェーデン

『日本国勢図会 2008 / 09』より作成

(2009年鳥取県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アは自動車、イは粗鋼、ウは化学繊維

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdData 入試社会(15,000 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdtype.com/dan/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1500 ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word 版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発 : URL <http://www.fdtype.com/dan/> Tel (092) 404-2266】